

令和4年度 第22回熊本県少年柔道「形」大会に関わる 新型コロナウイルス感染症拡大防止ガイドライン

1. 入場者の条件

- ① 大会当日、会場に入場する監督・コーチ・選手は、名簿を大会受付に提出し、検温を行ってから入場する。
- ② 大会役員・審判・報道、取材関係者は所属先と氏名を記入し、検温を行った後に入場する。
- ③ 大会当日入場する保護者等は、道場・クラブの所属団体毎に受付にて名簿を提出し、検温を行ってから入場する。

2. 体調管理

- ① 選手は、大会開催の7日前（2月26日）から検温し健康記録表に記入の上、当日大会受付に提出する。
- ② 役員・審判・補助員・取材者は、大会当日の体温を測定し、検温確認表に記入の上、大会本部に提出する。
- ③ 大会当日までに37.5℃以上の発熱が3～4日続いた日があったり、極度の咳、倦怠感などの症状があったりする者については大会への参加を見送り、会場への入場を制限する。

3. マスクの着用

- ① すべての入場者はマスクを着用する。マスクを着用しない者の入場は認めない。
- ② 選手は競技中以外はアップ時でもマスクを着用する。また、大会役員・審判・補助員・取材者・観客は常時マスクを着用する。
- ③ 選手が報道陣の取材を受ける際、写真撮影時に限ってはマスクを外すことを認める。

4. 社会的距離の確保

- ① 選手は、競技中を除き、他の選手・指導者・審判・補助員等と社会的距離を確保するように努める。
- ② ミーティングなどは密集にならないように配慮し、短時間で済ませる。
- ③ 選手の更衣は極力自チームの指定席で行い、会場の更衣スペースの使用は禁止とする。
- ④ 会場外のフロア・休憩スペース・駐車場等での会話は出来るだけ慎む。

5. 消毒・衛生管理

- ① すべての入場者はこまめな手洗い・手指消毒・うがいなどを励行する。
- ② 主催者は、会場入り口や試合会場に消毒液を設置する。
- ③ 1時間に1回換気及び除菌・消毒の時間を5分間設ける。
- ④ 水分補給は各自で準備するようにして、コップを共用する回し飲みは行わない。
- ⑤ 使用した机・椅子・掲示板などは、大会終了後に消毒液を浸した布巾やペーパータオルなどで拭く。
- ⑥ ゴミは各自ですべて持ち帰る。撤収後に館内を確認し、残っていた場合は道場・クラブの監督に戻ってもらい撤去をして頂く。

6. 感染状況報告

- ① 大会出場日を0日として3日目（3月8日）までに、感染が生じた場合は感染状況報告書（別紙様式）により報告を行うこと。

【報告先】 〒868-0302 熊本県球磨郡錦町大字一武839-1

熊本県少年柔道場連盟事務局長 園田 裕憲

E-Mail : kumamoto.shonen.2021@gmail.com

7. その他

- ① すべての入場者はマスクを着用が原則。
- ② 選手は大会出場に関する同意書を監督に提出し、監督が管理する。また監督は、証明書を大会本部に提出する。
- ③ 大会前に関係者(選手・指導者・役員)から感染者または濃厚接触者が発生した場合、主催者は大会の継続もしくは中止を検討する。

※ 徹底した感染防止対策を行っていく様に致しますが、その上で感染者が発生した場合は自己責任とさせて頂き、県柔道協会・少年柔道場連盟は責任を負いませんのでご了承下さい。